

製品安全データシート



1. 製品及び会社情報

製品名 SEPA-COAT-SP

製造元

会社名

住所

連絡先

電話番号

ファックス番号

信越化学工業株式会社
〒379-0195 群馬県安中市磯部2-13-1
群馬事業所 品質保証部
027-385-2172
027-385-2753

供給元

会社名

住所

連絡先

電話番号

ファックス番号

緊急連絡先

信越化学工業株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1
シリコン事業本部 総括部
03-3246-5121
03-3246-5381
027-385-2172 (休日・夜間: 027-385-2111)

推奨用途及び使用上の制限

使用上の制限

一般工業用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

健康に対する有害性

可燃性/引火性エアゾール 区分1
急性毒性 (吸入) 区分4
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A
特定標的臓器毒性 (単回暴露) 区分3 気道刺激性
特定標的臓器毒性 (単回暴露) 区分3 麻酔作用
吸引力呼吸器有害性 区分1

環境に対する有害性

危険有害性の分類に該当するという情報はありませぬ。
*記載がない危険有害性は、「区分外」、「分類対象外」または「分類できない」である。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

危険

極めて可燃性/引火性の高いエアゾール。吸入すると有害 (気体、蒸気、粉塵、ミスト)。強い眼刺激。呼吸器への刺激のおそれ。眠気およびめまいのおそれ。飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

注意書き

安全対策

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。裸火または他の着火源に噴霧しないこと。加圧容器: 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。保護眼鏡/保護面を着用すること。取扱後はよく洗うこと。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

応急措置

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

保管

換気の良い場所で保管すること。日光から遮断し、40℃以上の温度に暴露しないこと。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を現地/地域/国/国際法律に従って処理すること。

想定される非常事態の概要

与圧内容物。

エアゾール 与圧容器は熱や炎に暴露すると爆発する恐れがあります。熱により容器が爆発することがある。飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。吸入すると有害 (気体、蒸気、粉塵、ミスト)。強い眼刺激。呼吸器系に刺激を起こすことがある。眠気およびめまいのおそれ。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物
(シリコン溶液)

成分	官報公示整理番号			含有量 (%)
	CAS番号	化審法	安衛法	
石油ナフサ(ノナンを含有する。)	非公開	非公開	非公開	30 - 35
酢酸エチル	141-78-6	(2)-726	(2)-726	30 - 35
液化石油ガス(L. P. G.)	68476-85-7	対象外	対象外	30 - 35

化審法; 全成分登録済保証。
(少量新規成分含有)

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。必要に応じて酸素または人工呼吸を行う。被害者が物質を吸入した場合、マウスツーマウス蘇生法を行ってはならない。一方向弁付き携帯マスクまたは適切な呼吸医療機器を使用して人口呼吸を行う。気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚を石鹸と水で洗うこと。

目に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄すること。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。嘔吐させないこと。もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。吸引すると肺浮腫と肺炎を起こす可能性がある。直ちに医師の手当てを受けること。

応急措置をする者の保護

事故の場合や、気分がすぐれないときは医療処置について助言を求める。(可能ならばラベルを見せる) 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じて処置すること。

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO2)。

使ってはならない消火剤

知見なし。

火災時の特有の危険有害性

加熱および火災により有害な蒸気/ガスが生成されることがある。
窒素酸化物。(腐食性あり。)

特有の消火方法

もし危険を冒さずにできる場合は、火災区域から容器を移動させる。火災の場合は、散水により容器を冷却する。

消火を行う者の保護

消防士は、防火衣、ヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣、自給式呼吸器 (SCBA) を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。風上に留まる。閉鎖された場所に入るときは事前に換気を行う。適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

安全を確認してから、流出防止の措置をとる。

封じ込め及び浄化の方法・機材

全ての着火源を取り除く(その場での喫煙、炎、スパークまたは火災は禁止)。可燃性物質(木材、紙、油など)を流出物から遠ざける。可能な場合は漏出物が広がるのを防止すること。布等の吸収材で拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

使用後も含め、穴を開けたり燃やさないでください。炎や白熱物体に向けてスプレーしないでください。容器を切削、溶接、はんだ付け、穴開け、研削したり、あるいは熱、炎、火花やその他の発火源に暴露してはならない。製品を取り扱う時に使用するすべての装置は、接地しておく必要がある。

局所排気・全体換気

適切な換気を行う。

注意事項

裸火、熱源または発火源の近くで、取り扱ったり、保管したり、開けてはいけない。直射日光に当てないようにする。使用も含め、穴を開けたり燃やさないでください。炎や白熱物体に向けてスプレーしないでください。スプレーボタンが失われていたり不良品の場合には使用してはならない。スプレーの使用またはスプレーした表面が完全に乾燥するまでは禁煙。取扱い後は手をよく洗うこと。

安全取扱い注意事項

ミストや蒸気を吸入しないこと。眼に入らないようにする。長時間の暴露を避けること。

保管

技術的対策

日光から遮断し、40℃以上の温度に暴露しないこと。穿孔、焼却、圧潰してはならない。

適切な保管条件

施錠して保管すること。熱、火花、裸火から離して保管する。容器を密閉しておくこと。子供の手の届かないように保管すること。直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。

混触禁止物質

『10. 安定性及び反応性』を参照。

安全な容器包装材料

元の容器で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度（暴露限界値）および管理濃度

作業環境評価基準(昭和63年9月1日号外、労働省告示第79号)別表

成分	タイプ	数値
酢酸エチル (CAS 141-78-6)	管理濃度	200 ppm
日本産業衛生学会 成分	タイプ	数値
酢酸エチル (CAS 141-78-6)	TWA	720 mg/m ³
		200 ppm
ACGIH 成分	タイプ	数値
酢酸エチル (CAS 141-78-6)	TWA	400 ppm

設備対策 防爆型の全体および局所排気型換気装置。洗眼設備を設置する。

保護具

呼吸器の保護具 作業者が暴露限界値を上回る濃度にさらされる場合には、適切な認定を受けたマスクを着用する必要がある。

手の保護具 保護手袋を着用すること。

目の保護具 側板付安全眼鏡（またはゴーグル）を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。

適切な衛生対策 使用中は飲食や喫煙をしない。眼に入らないようにする。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。適切な産業衛生および安全対策のもとに取扱う。

9. 物理的及び化学的性質

外観

形状 液体

色 無色 透明

臭い 溶剤臭

pH データなし

融点 / 凝固点 該当せず

沸点、初留点と沸騰範囲 < -40 °C (< -40 °F) [液化石油ガス(L.P.G.)]

引火点 -3 °C (26.6 °F) (密閉式) [有効成分]

< -20 °C (< -4 °F) (密閉式)

自然発火温度 (発火点) データなし

燃焼又は爆発範囲—下限 0.6 % v/v [石油ナフサ]

燃焼又は爆発範囲—上限 7.0 % v/v [石油ナフサ]

蒸気圧 > 130 kPa (20 °C) [液化石油ガス(L.P.G.)]

蒸気密度 3 (空気=1.0) [酢酸エチル]

蒸発速度 > 1 (酢酸ブチル=1.0) [酢酸エチル]

比重 (相対密度) 0.83 (25 °C)

溶解性 (水) 不溶

n-オクタノール／水分配係数 該当せず

分解温度 データなし

10. 安定性及び反応性

安定性 通常の条件では安定。

危険有害反応可能性 危険な重合は起こらない。

避けるべき条件 特になし。

混触危険物質 強酸化剤。

危険有害性分解生成物 加熱又は燃焼により下記の分解生成物を発生する可能性がある。
一酸化炭素、二酸化炭素等の酸化炭素類、不完全燃焼により生成する微量の炭素化合物。二酸化珪素。窒素酸化物。ホルムアルデヒド。

11. 有害性情報

成分	種	試験結果
酢酸エチル (CAS 141-78-6)		
急性		
吸入		
LC50	ラット	16000 ppm, 6 hr
経口		
LD50	ウサギ	4.9 g/kg
	マウス	0.44 g/kg
	ラット	11.3 ml/kg
		5.6 g/kg

皮膚腐食性/刺激性

皮膚刺激。 [ノナン(石油ナフサ含有物)]

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

強い眼刺激。 [ノナン(石油ナフサ含有物)]
眼刺激。 [酢酸エチル]

特定標的臓器毒性 (単回暴露)

下記の臓器に影響を与える可能性がある。
気道刺激性。麻酔作用。 [酢酸エチル]
気道刺激性。麻酔作用。 [ノナン(石油ナフサ含有物)]

吸引性呼吸器有害性

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。 [石油ナフサ] [ノナン(石油ナフサ含有物)]

12. 環境影響情報

環境影響データ

成分	種	試験結果
酢酸エチル (CAS 141-78-6)		
水生		
魚類	LC50	ファットヘッドミノウ (ピメンファレス 230 mg/l, 96 hr プロメラス)
甲殻類	LC50	オオミジンコ
		164 mg/l, 48 hr

13. 廃棄上の注意

地域の廃棄規制

完全に空になるまで噴射してから廃棄する。穿孔、焼却、圧潰してはならない。廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。内容物/容器は、地域/地方/国/国際法律に従って処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

IATA

Basic shipping requirements:

UN number UN1950
Proper shipping name Aerosols, flammable
Hazard class 2.1
Environmental hazards
Marine pollutant Not regulated.
Additional information:
ERG code 10L

IMDG

Basic shipping requirements:

UN number UN1950
Proper shipping name AEROSOLS, flammable
Hazard class 2
Subsidiary hazard class 5T
Environmental hazards
Marine pollutant Not regulated.
(P / Not regulated)

IATA



国内規制 国内輸送については15章の規制に従うこと。
緊急時応急措置指針番号 126

15. 適用法令

労働安全衛生法

危険物 引火性の物

特化則

第一類物質

該当せず

第二類物質

該当せず

第三類物質

該当せず

有機則

第一種有機溶剤

該当せず

第二種有機溶剤

酢酸エチル

第三種有機溶剤

該当せず

通知対象物

ブタン

10 - 15 %

酢酸エチル

30 - 35 %

石油ナフサ

30 - 35 %

表示対象物

酢酸エチル

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず

毒物

該当せず

劇物

該当せず

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず

第二種特定化学物質

該当せず

監視化学物質

該当せず

優先評価化学物質

該当せず

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず

消防法

第四類第一石油類(非水溶性液体)

船舶安全法・危規則

高压ガス

航空法・施行規則

高压ガス

火薬類取締法

該当せず

高压ガス保安法

該当せず

海洋汚染防止法

該当せず

16. その他の情報

引用文献

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank

IARC発がん性評価モノグラフ

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

JIS Z 7250 : 2010 化学物質等安全データシート (MSDS) - 内容及び項目の順序

JIS Z 7251 : 2010 GHSに基づく化学物質等の表示

この製品安全データシートは、化学物質等安全データシートの日本工業規格 (JIS Z 7250:2010) に沿って作成致しました。本記載内容は代表値であり、規格、および保証値を示すものではありません。また、推奨される産業衛生措置および安全な取扱い方法は、通常の取扱いにおいて適用した方が良いと思われる内容を記載しておりますので具体的な用途や取扱い条件に照らして、推奨事項が適切かどうかご検討の上ご判断頂くようお願い致します。

本品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊な用途へのご使用に際しては貴社にて事前にテストを行ない、当該用途に使用する事の安全性をご確認の上ご使用ください。医療用インプラント用には絶対に使用しないでください。

版番号

03

製品名: SEPA-COAT-SP

6 / 6

会社名: Shin-Etsu Chemical Co., Ltd. 整理番号: GHRTS0 / 03 版番号: 03 改訂日: 2013/11/11

改訂日

2013/11/11